

開成町「かいせい平成の杜づくり」植樹祭 2013年6月14日



タウンニュース 足柄版 (2013年6月22日号)

開成町「宮脇方式」で植樹 官民協働の森づくり



開成町で6月14日、横浜国立大学名誉教授の宮脇昭氏を指導者に招いた植樹祭が催され、211人の参加者がタブや「町の木」のシイガシなど35種類・1200本の苗木を植栽した。

植樹会場は、開成南小学校西側の公園予定地内350平方メートル。



開成町で緑化事業を推進する民間団体cococara(伊藤李江代表)が主催し、知的障害者の生活支援や就労支援を行う社会福祉法人進和学園(平塚市)が苗木を提供、同町が後援する、協働の事業「かいせい平成の杜づくり」として行われた。

当日は宮脇氏による木の解説や植樹方法の指導が行われた後、府川裕一町長や開成南小6年生86人、一般公募の参加者らが植樹に取り組んだ。参加者は苗木を1本ずつ丁寧に植えて

土をかけ、上から保湿や草止めに役立つカヤをかぶせた。

この日植えた苗木は、宮脇氏の提唱する「潜在自然植生」に基づく、その土地本来の植生に合った樹木。同町では今後、植樹を行う際には、この「宮脇方式」を取り入れていく予定。



進和学園・いのちの森づくり基金へのご寄附を活用して、進和学園栽培の苗木35種類、1,200本を植えることができました。両社の皆様に心より感謝申し上げます！

株式会社サン・ライフ様 : 700本
高千穂のホームセンター促進会様 : 500本
合計 : 1,200本



開会式／宮脇昭先生による植樹説明・指導

府川裕一町長(右から2人目)はじめ行政・地域の皆様・開成南小学校6年生の子供達も参加して、楽しく賑やかなイベントとなりました！



主催 : COCOCARA
共催 : 社会福祉法人進和学園
後援 : 開成町



大地に命を植える行為は、子供達にとっても貴重な体験となることでしょう！



苗を植えた後、カヤ(マルチング材)を敷き詰めます！



植樹を終えて・・・宮脇先生と共に記念写真！



皆で力を合せて無事植樹完了！

その土地本来の樹種(広葉樹)を選び、密植・混植による宮脇方式を採用して早期に自然の森を創生します！

これからが楽しみですネ！

